

新型コロナウイルスワクチンの投与開始初期の重点的調査（コホート調査） — 当院の結果 —

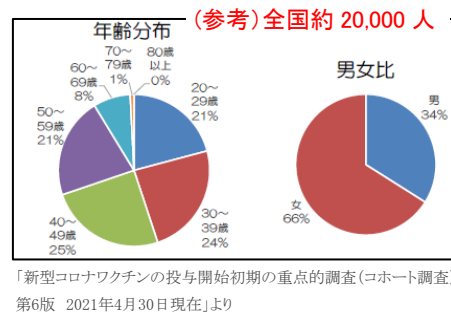
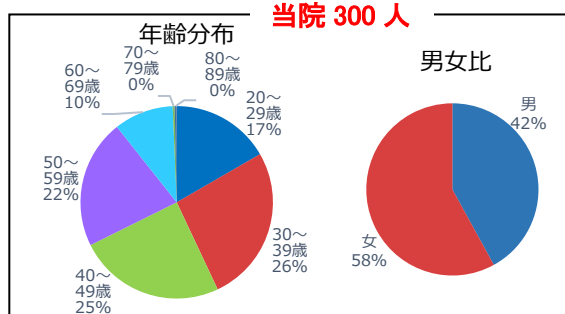
当院職員 300 名が協力したコホート調査の結果を集計しましたのでお知らせいたします。

全国約 2 万人の結果については、前号の News Letter vol.13 でお知らせした通りです。

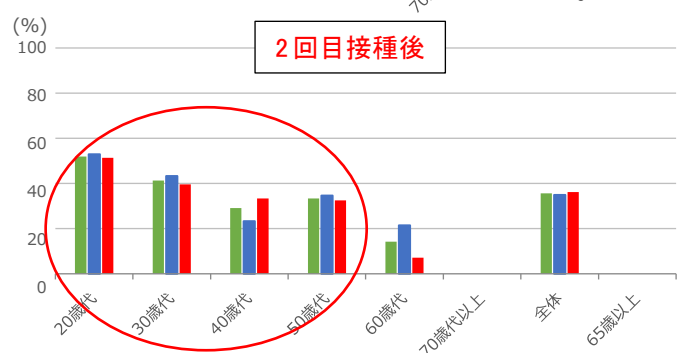
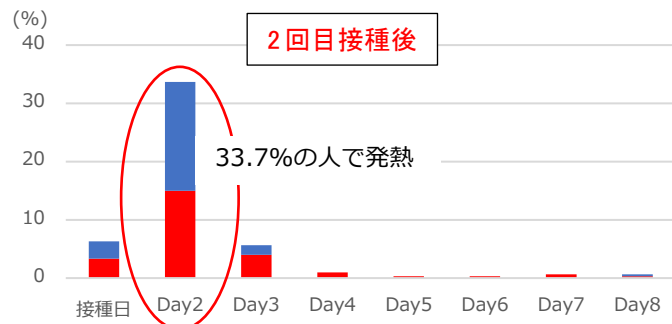
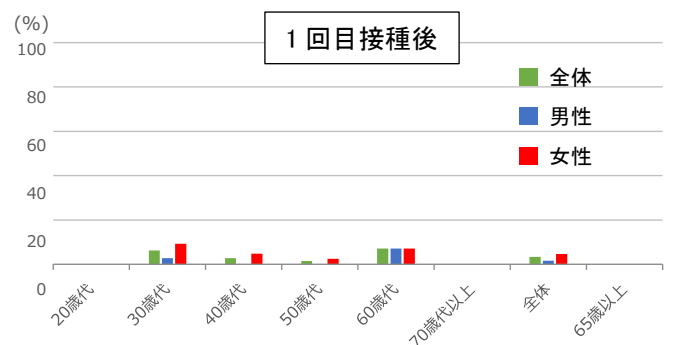
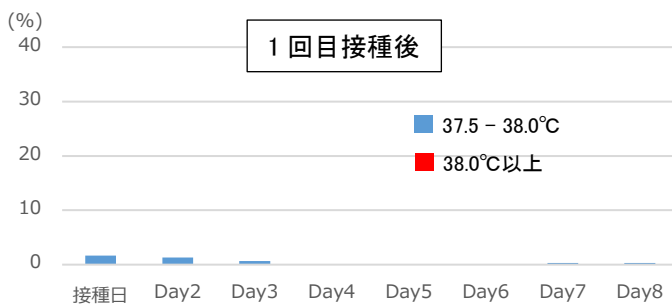
当院の調査協力者の属性は、男女比は全国の結果に比べて当院の方が 1 割弱男性の割合が多かった程度で大差はなく（男性 42%、女性 58%）、年齢分布もほぼ同じような分布を示していました（20 代が 17%、30 代が 26%、40 代が 25%、50 代が 22%、60 代が 10%、70 代と 80 代はどちらも 0%※）。

※ %の数値は小数点以下四捨五入

属性（年齢・性別）



発熱（37.5℃以上）

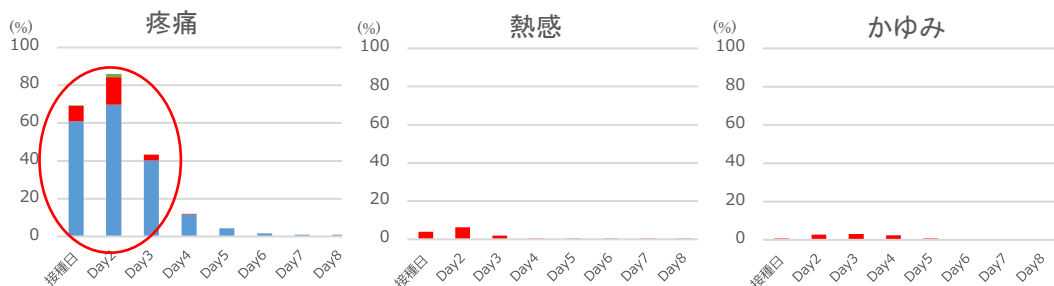


37.5℃以上発熱した人は、1回目接種後は2%未満でしたが、2回目接種後の特にDay2は33.7%で認められました。その大半は一過性で翌日には軽快しました。年代別にみると、2回目接種後に20歳代では男女ともに約50%の人が37.5℃以上の発熱があり、30歳代で約40%、40歳代、50歳代では約30%の人に発熱が認められました。65歳以上では37.5℃以上の発熱は認められず、年齢が低いと発熱する傾向が示されています。

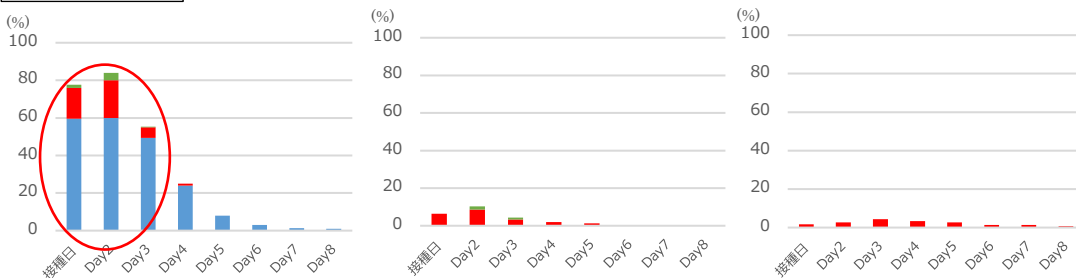
接種部位反応

■ 軽度 ■ 中等度 ■ 高度

1回目接種後



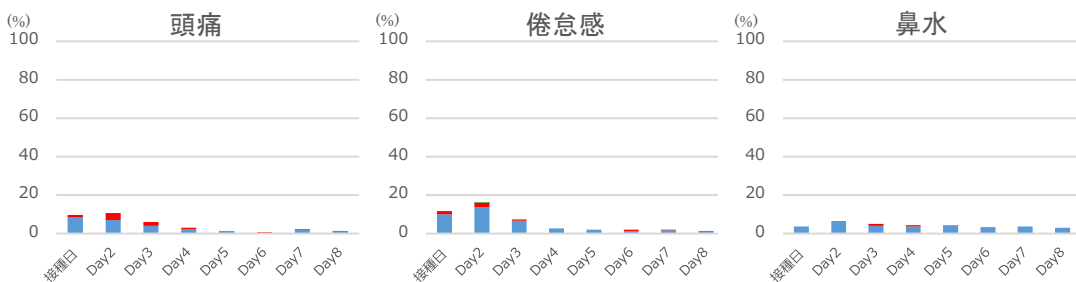
2回目接種後



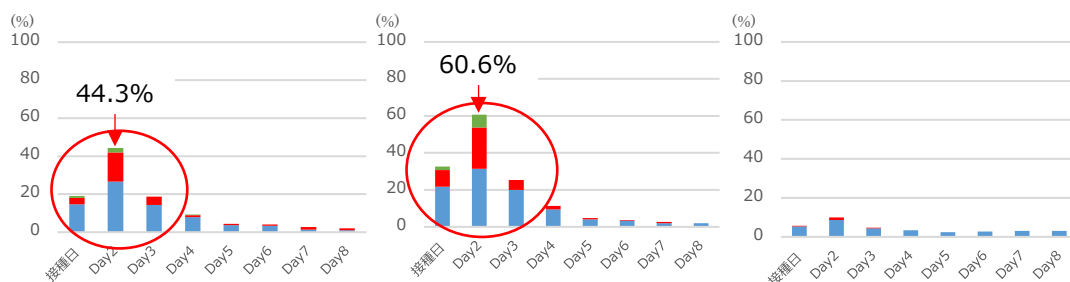
全身反応

■ 軽度 ■ 中等度 ■ 高度

1回目接種後



2回目接種後



接種部位反応は、1回目と2回目のいずれも接種後の数日間、40～90%の人に疼痛が認められました。熱感、かゆみは2回目接種後Day2に10%程度の人に認められましたが、それ以外は数%程度でした。

全身反応は、頭痛、倦怠感が、1回目よりも2回目に自覚した人が多く、Day2で頭痛は約40%、倦怠感は約60%の人に認められました。大半の人は一過性で数日後には軽快しました。

程度の差はありますが、発熱、接種部位反応、全身反応のいずれも1回目よりも2回目にさらにDay2に多く認められる傾向が示されました。

重篤な有害事象の報告は、当院の300名ではありませんでした。

当院では実施していませんが、ファイザー社の他にモデルナ社およびアストラゼネカ社のコホート調査も実施しています。詳細は下記の厚生労働省ホームページに掲載されている資料をご参照ください。

ファイザー社については、コホート調査に引き続き、新型コロナワクチンPMS（一般使用成績調査）を当院でも現在実施中です。

また、2回目接種から8か月以上を経過した人への3回目接種が、当院では12月以降に開始予定です。

厚生労働省厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会資料）

- モデルナ社：<https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000846569.pdf>
- アストラゼネカ社：<https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000846571.pdf>